

釧路南ロータリークラブ会報

第 29 回 例会 報告 2017.2.17 通算 1665 回

・点 鐘 長井会長

・入会記念祝

亀岡 孝会員 H24. 2. 17 (5年目)
工藤ゆかり会員 H 8. 2. 23 (21年目)

・誕生祝

前田 裕治会員 S41. 2. 19 (51歳)

・会長挨拶



本日の職場訪問例会は、北海道釧路鶴野支援学校に訪問することになりました。

以前、クラブの例会で小原校長に学校のお話をさせていただきましたが、皆さんが実際に学校に訪問することで少しでも支援学校へのご理解をして頂きたいと思っております。このような機会を頂きました小原雅浩校長に感謝を申し上げます。

・幹事報告



今回は移動例会なので、各種記念日のご紹介は次週に行います。

・本日のプログラム

「職場訪問例会」

担当 職業奉仕委員会

◆釧路支援学校 校長 小原 雅浩様



釧路鶴野支援学校は、平成 26 年 4 月に開校して 3 年が経ちます。

本校は、平成 26 年に釧路聾学校の教育を受け継いだ、視覚障がい教育部門と高等部職業学科を設置した知的障がい教育部門が併設された特色のある学校としてスタートした新しい学校です。

聴覚障がい教育については、聾学校の時代を積み

重ねると開校 68 年目にあたる歴史のある側面も併せもっています。これまで子供たちと職員が丸となって自分たちの学校づくりに取り組んできました。その間、保護者や地域の皆様の暖かいご支援を受けられ我々の励みとなり鋭気の源となりました。

3年目の今年は、19名の卒業生がおりますが総勢72名の生徒です。「自立を目指して明るく元気に努力し続ける人を育てる」ことを目標に一日一日を大切にしながら子供たち一人ひとりの教育活動に取り組んでいます。

「努力し続ける人を育てる」という目標を掲げている道立学校は本校だけです。3年間もしくは9年間学ぶ子供たちをここで終わりにしない。地域の人との関わりが得意でない子供たちが地域の中で大人や自分と同じ世代の子供たちと学びあう機会をこれからも大事にして行きます。

【学校の特徴】

- ・聴覚障がい教育（幼稚部、小学部、中学部）と知的障がい教育（職業学科を設置する高等部）を行う、道内唯一の特別支援学校である。
- ・聴覚障がい教育部門は、幼稚部、小学部、中学部における教育のほかに、聴覚障がい乳幼児療育事業を実施し、釧路、根室、オホーツク管内（一部）の聴覚障がい教育センター的機能を担う。
- ・知的障がい教育部門は、平成 26 年度道東地区で初めて設置された「環境・流通サポート科」と「福祉サービス科」に加えて、平成 27 年度より新たに「生活技術科」を設置し、歴史伝統ある釧路で自立し、主体的に社会参加する人材を目指す。

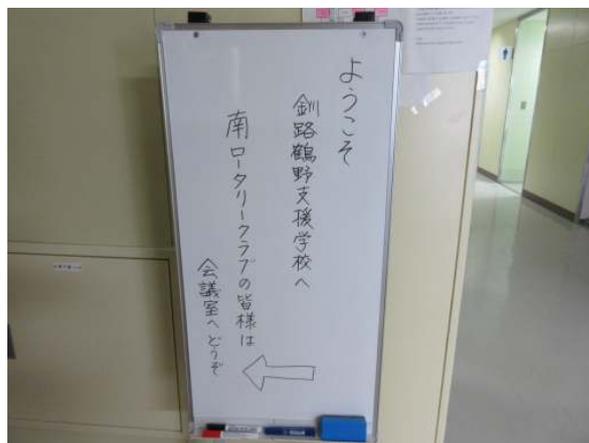
中でも特徴的なのは、

- ・大楽毛北三丁目町内会と行っている学校公開や花壇づくり
- ・大楽毛海岸のハマナス植栽に苗を持参して参加
- ・王子製紙の夏祭りに初めて参加
- ・実践型作業学習は大楽毛や星が浦の企業や店舗、介護施設のご協力で接客、清掃などの作業に取組
- ・つるクール食堂は、釧路短大の先生や学生の協力を得て地域の方々への昼食の提供
- ・町内会館の清掃や滑り止め用砂の配布

今年度から後援会が設立され、初めての卒業生の2/3は、清掃業、店舗、介護施設で内定を頂いている。

清掃を主にやっていた生徒が、後援会のご協力で初めて札幌の全道大会に参加し優勝をしました。

釧路南ロータリークラブの皆様にもお世話になることもあるかと思しますのでこれからもよろしくお願い致します。この後、校内の教室を見学して頂きます。





・次回のプログラム

2月24日(金)

「会員卓話」

会場 ホテルクラウンヒルズ釧路 12:30～

担当：クラブ運営委員会

・点 鐘 長井会長

今週の会報担当：福井克美会員